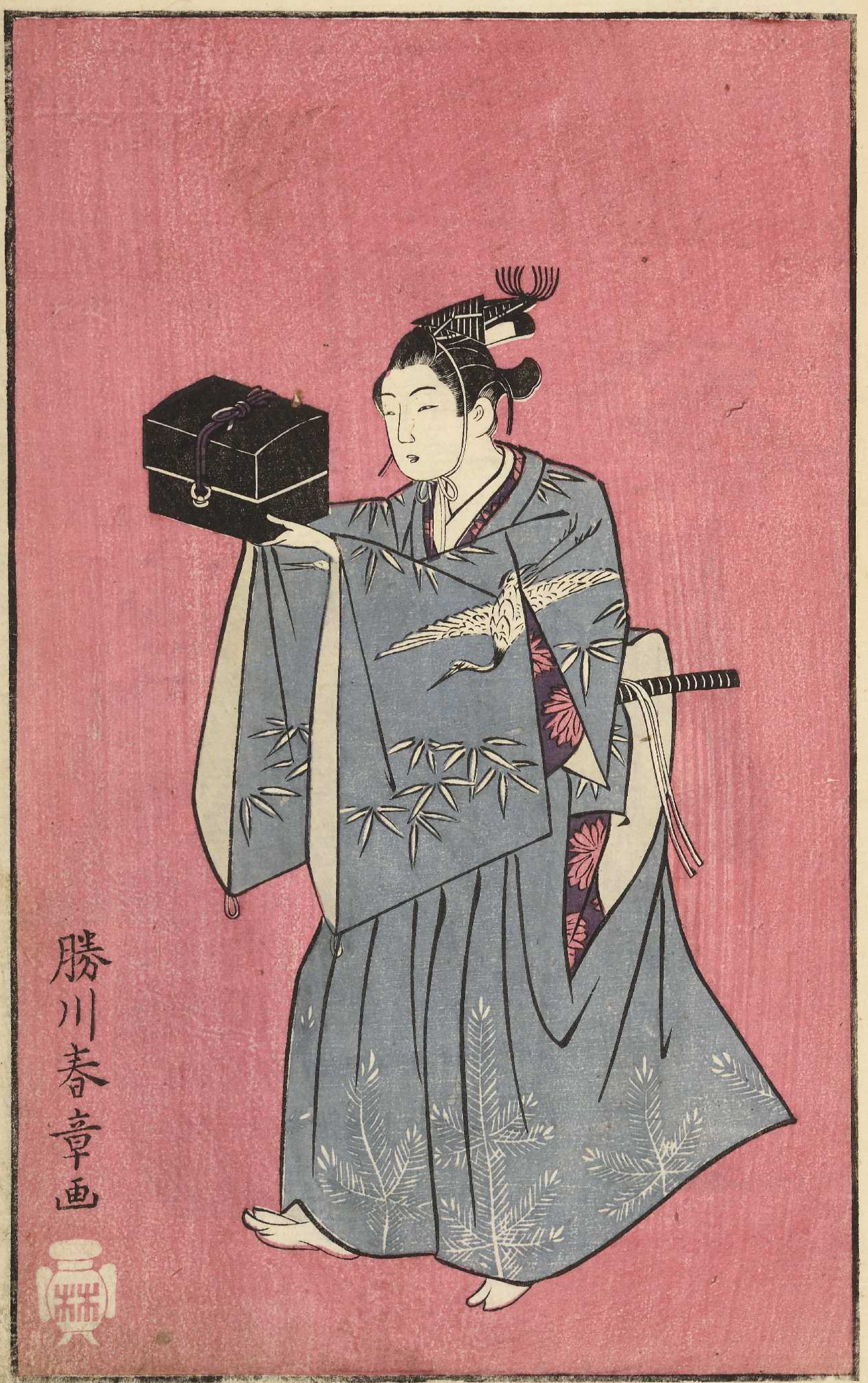

是（これ）をもて考（うんく）らふ古（いう）への萩（ちき）の戸や手の許（てうつきち）紅（むそ）さ紅

こふるま枕あかりける。書林（しよりん）雁金肆（がんきんし）志らふらふ子。櫻（さくら）

木（き）ゑりて花盤（ちかさん）なる江戸画（ゑどゑ）をひろめんとなりたるふれつく。

其趣（そのおもむき）をのべよとこへりとめられて筆（ふんで）を取（とり）つ指（さしづ）當てこ

すみをこ

寅　むつゝ月